

令和5年度 第1回士別市上下水道審議会議案

日時 令和5年8月23日 15:00

場所 市役所 会議室1 (2F)

1 開 会

2 挨拶

3 会長及び副会長の選任

4 協議事項等

報告第1号 令和4年度士別市水道事業会計決算について

報告第2号 令和4年度士別市公共下水道事業特別会計決算について

報告第3号 令和4年度士別市農業集落排水事業特別会計決算について

報告第4号 水道料金の軽減延長

報告第5号 水道事業の一般会計繰入金の見直し

報告第6号 下水道事業の地方公営企業法適用と収支概要

議案第1号 手数料の見直しについて

5 そ の 他

6 閉 会

令和4年度士別市水道事業会計決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

(消費税込み)

収入

(単位：円)

区 分	R3決算額	R4予算額	R4決算額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 水道事業収益	594,914,967	629,106,000	593,690,377	△ 35,415,623
第1項 営業収益	399,061,259	378,928,000	368,925,902	△ 10,002,098
第2項 営業外収益	195,807,318	250,158,000	224,745,931	△ 25,412,069
第3項 特別利益	46,390	20,000	18,544	△ 1,456

支出

区 分	R3決算額	R4予算額	R4決算額	不用額
第1款 水道事業費用	612,815,924	641,524,000	586,547,583	54,976,417
第1項 営業費用	543,247,636	571,822,000	519,392,451	52,429,549
第2項 営業外費用	69,559,270	69,402,000	67,153,956	2,248,044
第3項 特別損失	9,018	200,000	1,176	198,824
第4項 予備費	0	100,000	0	100,000

※ 水道事業収益593,690,377円から水道事業費用586,547,583円の収支差額は、7,142,794円
(税抜き額1,920,419円)の純損失となった。

(2) 資本的収入及び支出

収入

区 分	R3決算額	R4予算額	R4決算額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 資本的収入	193,754,283	229,675,000	162,327,799	△ 67,347,201
第1項 国庫補助金	33,143,000	27,552,000	27,552,000	0
第2項 工事負担金	4,543,000	27,789,000	3,344,000	△ 24,445,000
第3項 企業債	132,900,000	149,900,000	107,000,000	△ 42,900,000
第4項 他会計補助金	23,168,283	24,384,000	24,383,713	△ 287
第5項 固定資産売却代金	0	50,000	48,086	△ 1,914

支出

区 分	R3決算額	R4予算額	R4決算額	翌年度繰越額	不用額
第1款 資本的支出	374,343,262	418,271,000	351,391,968	14,685,000	52,194,032
第1項 建設改良費	172,769,080	205,752,000	138,973,800	14,685,000	52,093,200
第2項 企業債償還金	201,574,182	212,519,000	212,418,168	0	100,832

※ 資本的収入額162,327,799円から資本的支出額351,391,968円の収支差額は189,064,169円の不足が生じた。この不足分を当年度分消費税資本的収支調整額8,936,761円、過年度分損益勘定留保資金180,127,408円で補った。

(3) 損益収支の前年度比較(消費税抜き)

収益的収支

(単位:千円)

年 度		令和4年度	令和3年度	差 引
区 分		(ア)	(イ)	(ア)-(イ)
収 入	1 営業収益	335,422	362,818	△ 27,396
	給水収益	324,678	348,243	△ 23,565
	受託工事収益	632	2,544	△ 1,912
	その他の営業収益	10,112	12,031	△ 1,919
	2 営業外収益	224,682	195,686	28,996
	受取利息及び配当金	1	3	△ 2
	一般会計繰入金	102,042	67,531	34,511
	長期前受金戻入	121,338	125,853	△ 4,515
	雑収益	1,301	2,299	△ 998
	3 特別利益	17	46	△ 29
	過年度損益修正益	17	13	4
	その他特別利益	0	33	△ 33
	収入計 (A)		560,121	558,550
支 出	1 営業費用	501,664	524,863	△ 23,199
	原水及び浄水費	65,974	63,969	2,005
	配水及び給水費	76,775	87,114	△ 10,339
	受託工事費	632	2,544	△ 1,912
	業務及び総係費	26,109	32,924	△ 6,815
	温西地区管理費	24,995	20,604	4,391
	士別地区管理費	23,896	25,777	△ 1,881
	朝日地区管理費	21,707	22,103	△ 396
	減価償却費	257,077	264,390	△ 7,313
	資産減耗費	4,499	5,438	△ 939
	2 営業外費用	60,376	63,117	△ 2,741
	支払利息及び諸費	59,199	62,771	△ 3,572
	雑支	1,177	346	831
3 特別損失	1	9	△ 8	
過年度損益修正損	1	9	△ 8	
その他特別損失	0	0	0	
支出計 (B)		562,041	587,989	△ 25,948
収支差引 (A)-(B)		△ 1,920	△ 29,439	27,519
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)		△ 350,539	△ 348,619	△ 1,920
不 良 債 務	流動資産 (C)	155,685	187,694	△ 32,009
	うち未収金	44,537	56,761	△ 12,224
	流動負債 (D)	47,068	38,504	8,564
	うち未払金	21,514	12,541	8,973
	差 引 (D)-(C)	△ 108,617	△ 149,190	△ 40,573

※両年度とも差引がマイナスのため不良債務の発生はありません。

※地方財政法施行令に基づき、流動資産は流動資産から固定負債のその他の企業債を除いた額、流動負債は流動負債のうち企業債を除いた額を算定に用いています。

(4) 令和3年度貸借対照表(消費税抜き)
(令和4年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部	1 固定資産	5,807,319	負 債 の 部	1 固定負債	4,343,458
	1) 有形固定資産	5,807,235		1) 企業債	4,318,169
	2) 無形固定資産	84		2) その他の企業債	25,289
	2 流動資産	212,983		2 流動負債	248,219
	1) 現金預金	147,897		1) 企業債	209,716
	2) 未収金	56,761		2) その他の企業債	2,702
	貸倒引当金	29		3) 未払金	12,541
	3) 貯蔵品	7,999		4) 預り金	18,635
	4) 前払費用	355		5) 引当金	4,625
	資産合計	6,020,302		3 繰延収益	1,504,967
計	6,020,302	1) 長期前受金	1,487,233		
		2) 建設仮勘定 長期前受金	17,734		
		負債合計	6,096,644		
		1 資本金	261,652		
		1) 自己資本金	261,652		
		2 剰余金	△ 337,994		
		1) 資本剰余金	10,625		
		2) 欠損金	348,619		
		資本合計	△ 76,342		
		計	6,020,302		

流動負債(企業債を除く) - 流動資産(固定負債のその他の企業債を除く) = △149,190千円(不良債務なし)
(38,504千円) (187,694千円)

(5) 令和4年度貸借対照表(消費税抜き)
(令和5年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部	1 固定資産	5,674,475	負 債 の 部	1 固定負債	4,226,147
	1) 有形固定資産	5,674,437		1) 企業債	4,204,566
	2) 無形固定資産	38		2) その他の企業債	21,581
	2 流動資産	177,266		2 流動負債	267,671
	1) 現金預金	124,390		1) 企業債	220,603
	2) 未収金	44,537		2) その他の企業債	3,708
	貸倒引当金	172		3) 未払金	21,514
	3) 貯蔵品	8,156		4) 預り金	17,517
	4) 前払費用	355		5) 引当金	4,329
	資産合計	5,851,741		3 繰延収益	1,436,185
計	5,851,741	1) 長期前受金	1,418,795		
		2) 建設仮勘定 長期前受金	17,390		
		負債合計	5,930,003		
		1 資本金	261,652		
		1) 自己資本金	261,652		
		2 剰余金	△ 339,914		
		1) 資本剰余金	10,625		
		2) 欠損金	350,539		
		資本合計	△ 78,262		
		計	5,851,741		

流動負債(企業債を除く) - 流動資産(固定負債のその他の企業債を除く) = △108,617千円(不良債務なし)
(47,068千円) (155,685千円)

(6) 給水状況

事 項		単 位	令和4年度	令和3年度	比 較		
					増 減	比率(%)	
計 画 給 水 人 口 (A)		人	20,000	20,000	0	100.0	
給 水 区 域 内 人 口 (B)		人	16,931	17,301	△ 370	97.9	
現 在 給 水 人 口 (C)		人	14,396	14,733	△ 337	97.7	
計 画 給 水 人 口 に 対 する 普 及 率 (C)/(A)		%	72.0	73.7	△ 1.7	97.7	
給 水 区 域 内 人 口 に 対 する 普 及 率 (C)/(B)		%	85.0	85.2	△ 0.2	99.9	
給 水 戸 数		戸	8,221	8,335	△ 114	98.6	
用 途 別 戸 数	家 事 用 戸	戸	7,463	7,569	△ 106	98.6	
	家 事 用 以 外 戸	戸	755	763	△ 8	99.0	
	浴 場 用 戸	戸	3	3	0	100.0	
	臨 時 用 戸	戸	-	-	-	-	
配 水 量	年 間 (D)	m ³	2,210,023	2,191,781	18,242	100.8	
	一 ヶ 月 平 均	m ³	184,169	182,648	1,521	100.8	
	一 日 平 均	m ³	6,055	6,005	50	100.8	
有 収 水 量	年 間 (E)	m ³	1,744,859	1,791,588	△ 46,729	97.4	
	一 ヶ 月 平 均	m ³	145,405	149,299	△ 3,894	97.4	
	一 日 平 均	m ³	4,780	4,908	△ 128	97.4	
	用 途 別	家 事 用	m ³	1,171,244	1,218,445	△ 47,201	96.1
		家 事 用 以 外	m ³	535,774	536,549	△ 775	99.9
		浴 場 用	m ³	37,039	35,246	1,793	105.1
		臨 時 用	m ³	802	1,348	△ 546	59.5
一 日 最 大 配 水 量		m ³	7,048	7,240	△ 192	97.4	
有 収 率 (E)/(D)		%	79.0	81.7	△ 2.7	96.7	

(7) 供給単価・給水原価の年度別推移

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
供給単価	186.08	194.38	193.95	193.28	190.93
給水原価	252.21	256.52	252.41	254.96	242.02

(8) 導水管・送水管・配水管延長の年度別推移

(単位：m)

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
導水管・送水管・配水管延長	333,776	333,025	332,619	330,868	329,469

(9) 令和4年度水道料金調定内訳(消費税込み)

(単位：千円 / %)

区 分	令和4年度	令和3年度	構 成 比
家 事 用	基 本	83,023	23.25
	超 過	150,311	42.09
	小 計	233,334	65.33
家 事 用 以 外	基 本	31,803	8.90
	超 過	90,512	25.34
	小 計	122,315	34.25
浴 場 用	基 本	147	0.04
	超 過	1,017	0.28
	小 計	1,164	0.33
臨 時 用	333	560	0.09
合 計	357,146	383,068	100.00

水道事業収支計画

本表の収益的収支は「消費税抜き」、資本的収支は「消費税込み」の数字を記載している。

区 分		年 度	2021年度 (R3年度) 決算	2022年度 (R4年度)		2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)	2028年度 (R11年度)	2028年度 (R12年度)
				計画	決算								
収 益 的 収 入	収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益	362,818	339,305	335,422	349,465	402,179	406,504	400,817	398,070	394,210	389,549	385,022
		(1) 料 金 収 入	348,243	329,387	324,678	330,892	391,204	395,996	391,244	386,549	381,910	377,327	372,799
		(2) 受 託 工 事 収 益	2,544	1,000	632	10,000	2,402	1,935	1,000	2,948	3,727	3,649	3,650
		(3) そ の 他	12,031	8,918	10,112	8,573	8,573	8,573	8,573	8,573	8,573	8,573	8,573
		2. 営 業 外 収 益	195,686	228,287	224,682	268,535	193,069	184,113	181,466	164,701	149,360	141,264	147,652
		(1) 補 助 金	67,531	104,119	102,042	154,685	92,789	90,213	88,188	89,770	91,629	83,629	90,432
		他 会 計 補 助 金	67,531	75,330	73,256	74,685	84,789	90,213	88,188	89,770	91,629	83,629	90,432
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入	125,853	124,062	121,338	113,481	99,911	93,531	92,909	74,562	57,362	57,265	56,850
		(3) そ の 他	2,302	106	1,302	369	369	369	369	369	369	370	370
		収 入 計 (A)	558,504	567,592	560,104	618,000	595,248	590,617	582,283	562,771	543,570	530,813	532,674
		1. 営 業 費 用	524,863	508,921	501,664	525,734	460,199	469,630	472,779	488,171	485,598	485,675	485,864
		(1) 職 員 給 与 費	55,451	58,355	57,625	38,616	38,616	38,616	38,616	38,616	38,616	38,616	38,616
		(2) 経 費	199,584	187,952	182,463	228,984	175,419	190,291	191,230	204,348	202,242	202,151	201,039
		(3) 資 産 減 耗 費	5,438	6,000	4,499	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	
(4) 減 価 償 却 費	264,390	256,614	257,077	252,134	240,164	234,723	236,933	239,207	238,740	238,908	240,209		
2. 営 業 外 費 用	63,117	60,406	60,376	57,344	53,902	50,582	47,298	44,139	40,950	37,872	35,054		
(1) 支 払 利 息	62,771	58,901	59,199	55,829	52,429	49,036	45,762	42,579	39,447	36,369	33,551		
(2) そ の 他	346	1,505	1,177	1,515	1,473	1,546	1,536	1,560	1,503	1,503	1,503		
支 出 計 (B)	587,980	569,327	562,040	583,078	514,101	520,212	520,077	532,310	526,548	523,547	520,918		
経常損益 (A)-(B) (C)	△ 29,476	△ 1,735	△ 1,936	34,922	81,147	70,405	62,206	30,461	17,022	7,266	11,756		
特別利益 (D)	46	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0		
特別損失 (E)	9		1										
特別損益 (D)-(E) (F)	37	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0		
当年度純利益 (又は純損失) (C)+(F)	△ 29,439	△ 1,735	△ 1,920	34,922	81,147	70,405	62,206	30,461	17,022	7,266	11,756		
繰越利益剰余金又は累積欠損金 (G)	△ 348,619	△ 350,354	△ 350,539	△ 315,617	△ 234,471	△ 164,066	△ 101,860	△ 71,399	△ 54,377	△ 47,111	△ 35,354		
資 本 的 収 入	資 本 的 収 入	1. 企 業 債	132,900	150,000	107,000	143,500	150,000	150,000	140,000	140,000	130,000	130,000	130,000
		2. 他 会 計 補 助 金	23,168	24,215	24,384	24,902	25,403	26,124	26,508	26,535	26,616	22,920	18,682
		3. 国 (都 道 府 県) 補 助 金	33,143	35,323	27,552	25,312	34,749	28,706	14,566	12,400	9,496	12,400	
		4. 固 定 資 産 売 却 代 金		50	43	50	50	50	50	50	50	50	
		5. 工 事 負 担 金	4,543	0	3,344	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	
		収 入 計 (H)	193,754	209,588	162,323	208,764	225,202	219,880	196,124	193,985	181,162	180,370	163,732
資 本 的 支 出	資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費	172,769	185,323	138,974	204,631	217,749	211,706	187,566	185,400	172,496	175,400	173,833
		うち職員給与費				18,956	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	
		2. 企 業 債 償 還 金	201,574	212,418	212,418	224,311	234,010	239,007	241,347	245,476	251,768	247,229	243,927
支 出 計 (I)	374,343	397,741	351,392	428,942	451,759	450,713	428,913	430,876	424,264	422,629	417,760		
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (J)			180,589	188,153	189,069	220,178	226,557	230,833	232,789	236,891	243,102	242,259	254,028
財 源 補 填	財 源 補 填	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	169,120	175,669	180,405	208,149	214,131	218,441	221,324	225,428	232,551	231,532	242,115
		2. そ の 他	11,469	12,484	8,664	12,029	12,426	12,392	11,465	11,463	10,551	10,727	11,913
計			180,589	188,153	189,069	220,178	226,557	230,833	232,789	236,891	243,102	242,259	254,028
企業債残高			4,555,876	4,493,458	4,450,458	4,369,647	4,285,637	4,196,630	4,095,283	3,989,807	3,868,039	3,750,810	3,636,883
流動資産			212,983	179,137	177,266	154,113	167,387	166,549	157,223	132,907	103,689	66,351	25,353
うち未収金			56,761	49,299	44,537	44,092	43,651	43,214	42,782	42,354	41,930	41,511	41,096
流動負債			38,504	43,510	52,482	52,488	52,493	52,499	52,267	52,273	51,206	50,491	50,492
うち未払金			12,542	12,542	21,514	21,514	21,514	21,514	21,514	21,514	21,514	21,514	
その他の企業債現在高			25,289	21,582	21,582	17,868	14,149	10,424	6,931	3,432	1,000		
運転資本			149,190	114,045	108,617	83,757	100,745	103,626	98,025	77,202	51,483	15,860	△ 25,139

令和4年度 水道事業の工事实績

(単位：千円(税込み))

区分	工 事 名	工 事 概 要	金 額	
東山浄水場施設整備事業				
工事費	東山浄水場ろ過砂更新工事	1号ろ過池ろ過砂更新	4,972	
配水施設改良事業				
工 事 費	東丘7号通り 配水管敷設替工事	HPE φ100 L=125.7m PE φ75 L= 1.5m	7,755	
	西栄5条通り 配水管敷設替工事	HPE φ100 L= 70.2m PE φ50 L= 25.7m	5,390	
	第1工区不動南士別線 配水管敷設替工事	HPE φ150 L=188.2m	8,866	
	第2工区不動南士別線 配水管敷設替工事	HPE φ75~150 L=120.9m DIP-K φ75 L= 1.8m	9,779	
	緊急時給水拠点確保事業 配水管布設替工事	DIP-GX φ150 L=369.6m HPE φ100 L=62.8m	43,296	
	緊急時給水拠点確保事業 付帯工事	PE φ50 L= 4.9m HPE φ100 L= 4.0m DIP-K φ75 L= 1.3m DIP-GX φ150 L= 5.0m	6,600	
	消火栓取替工事	市内一円 3基	3,344	
	小 計			85,030
	委 託 費	緊急時給水拠点確保事業 現況測量業務	現況測量 一式	4,004
		緊急時給水拠点確保事業 配水管実施設計業務	耐震配水管実施設計 一式	3,905
		小 計		7,909
	事務費	付帯事務費	事務用品等	65
	合 計			93,004
温西地区水道施設整備事業				
工事費	緊急時給水拠点確保事業 温西地区配水管布設替工事	DIP-GX φ150 L= 15.9m 保温管 L= 42.6m	31,339	
事務費	付帯事務費	事務用品等	47	
合 計			31,386	
士別旧簡水地区水道施設整備事業				
工 事 費	内大部浄水場 電気設備更新工事	照明器具 一式	803	
	幹線流量計室 電気設備更新工事	計装盤 一式 照明器具 一式	5,610	
	旧簡水地区 配水管仕切弁更新工事	VP φ150 L= 3.3m	1,540	
合 計			7,953	
朝日地区水道施設整備事業				
工事費	朝日地区 配水管仕切弁更新工事	VP φ75 L= 1.6m	891	
総 合 計			138,206	

令和4年度に予算措置した事業のうち令和5年度に繰越した事業

(単位：千円(税込み))

区分	工 事 名	繰 越 理 由	金 額
東山浄水場施設整備事業			
工事費	東山浄水場電気設備更新工事	世界的な半導体及び資機材の不足により、資材の調達に遅れが生じたことで、年度内に工事が完了しなかったため。	14,685

配水管新設工事：配水管が未敷設であったり、管網整備のために水道事業が費用負担して実施する工事

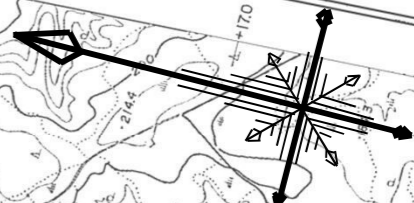
配水管敷設替工事：配水管の老朽や漏水対策のために水道事業が費用負担して実施する工事

配水管布設替工事：道路改良等の実施に伴い支障となる配水管の布設替工事で、原因者が費用負担して実施する工事

注：事業概要の略語は以下の通り

DIP (GX)：タグタイル 鋳鉄管(耐震継手付) HPE：水道配水用ポリエチレン管 PE：水道用ポリエチレン管

令和4年度 水道事業工事箇所図



東山浄水場ろ過砂更新工事

東丘7号通り配水管敷設替工事

緊急時給水拠点確保事業配水管布設替工事
給水管・配水支管接続工事

(取りやめ)西1条2号通り

西栄5条通り配水管敷設替工事

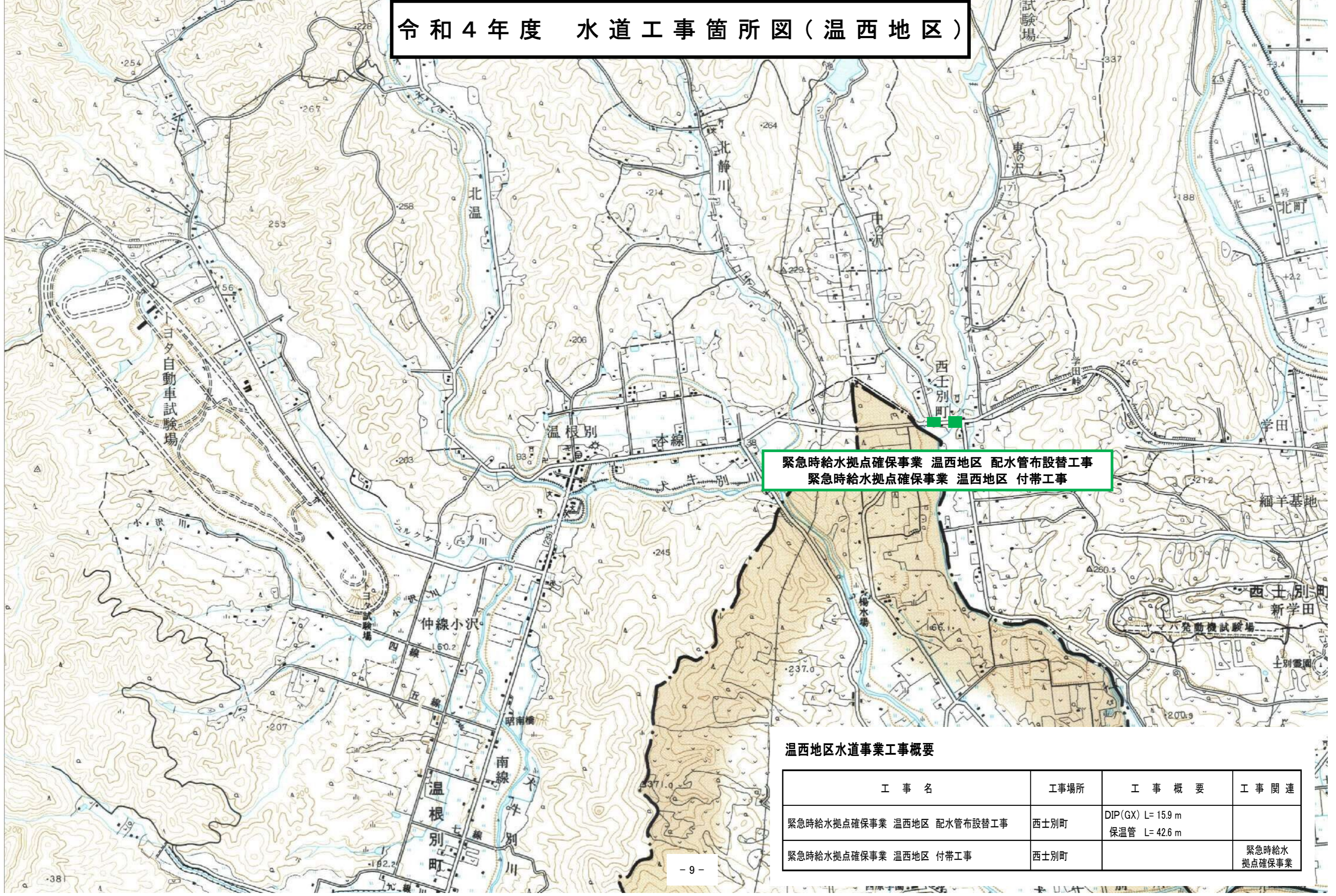
第1工区不動南士別線
配水管敷設替工事

第2工区不動南士別線
配水管敷設替工事

水道事業工事概要

工事名	工事場所	工事概要			工事関連
		管種	管径	延長	
東山浄水場ろ過砂更新工事	東山浄水場	1号ろ過池ろ過砂更新			
東丘7号通り配水管敷設替工事	東丘3丁目	HPE	φ 100	L= 125.7 m	道路
		PE	φ 50	L= 1.5 m	
西栄5条通り配水管敷設替工事	西4条1丁目	HPE	φ 100	L= 70.2 m	道路
		PE	φ 50	L= 25.7 m	
第1工区 不動南士別線配水管敷設替工事	南士別町	HPE	φ 150	L= 188.2 m	
第2工区 不動南士別線配水管敷設替工事	南士別町	HPE	φ 150	L= 120.9 m	
		DIP (K)	φ 75	L= 1.8 m	
緊急時給水拠点確保事業配水管布設替工事	東2条北2丁目 ～東1条北7丁目	DIP (GX)	φ 150	L= 369.6 m	
		HPE	φ 100	L= 62.8 m	
給水管・配水支管接続工事	東2条北2丁目 ～東1条北7丁目	HPE	φ 100	L= 4.9 m	緊急時給水 拠点確保事 業
		DIP (K)	φ 100	L= 4.0 m	
		PE	φ 50	L= 5.0 m	

令和4年度 水道工事箇所図（温西地区）



緊急時給水拠点確保事業 温西地区 配水管布設替工事
 緊急時給水拠点確保事業 温西地区 付帯工事

温西地区水道事業工事概要

工事名	工事場所	工事概要	工事関連
緊急時給水拠点確保事業 温西地区 配水管布設替工事	西士別町	DIP(GX) L= 15.9 m 保温管 L= 42.6 m	
緊急時給水拠点確保事業 温西地区 付帯工事	西士別町		緊急時給水拠点確保事業

令和4年度 工事施工箇所図

旧簡水地区配水管
仕切弁更新工事

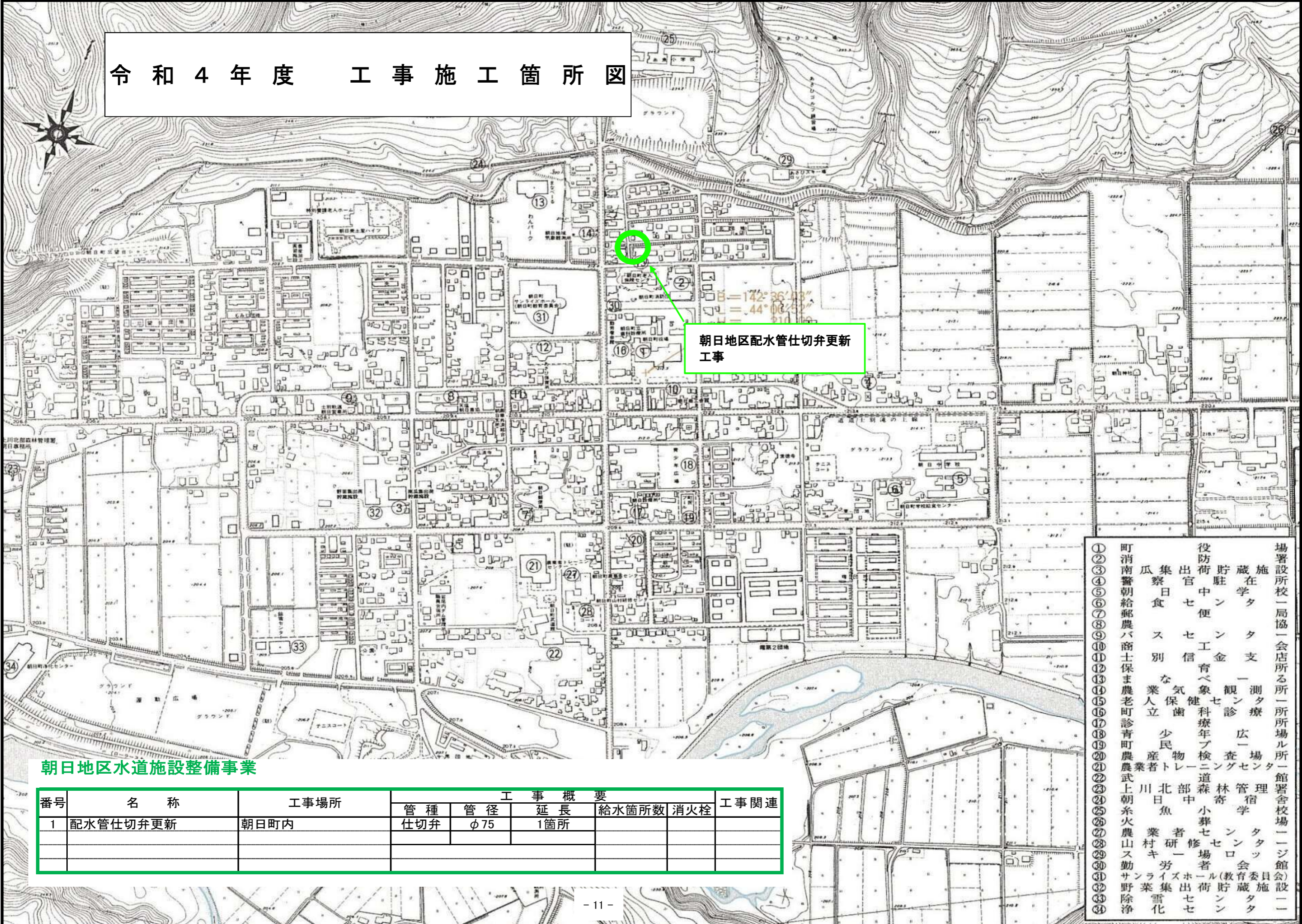
幹線流量計室

内大部浄水場

士別旧簡水地区水道施設整備事業

番号	名称	工事場所	工事概要	工事関連
①	内大部浄水場電気設備更新工事	上士別町23線 内大部浄水場	照明器具 一式	
②	幹線流量計室電気設備更新工事	中士別町7線	計装盤 一式 照明器具 一式	
③	旧簡水地区配水管仕切弁更新工事	中士別町7線	仕切弁 2基	

令和4年度 工事施工箇所図



朝日地区配水管仕切弁更新工事

朝日地区水道施設整備事業

番号	名称	工事場所	工事概要				工事関連
			管種	管径	延長	給水箇所数	
1	配水管仕切弁更新	朝日町内	仕切弁	φ75	1箇所		

- ① 場署設所校一局協一会店所る所一所所場所一館署舎校場一
- ② 施在学タ
- ③ 蔵学タ
- ④ 貯駐ン
- ⑤ 役防荷中便
- ⑥ 出官セ
- ⑦ 集祭日食
- ⑧ 瓜察日食
- ⑨ 町消南警朝給郵農バ商士保ま農老町診青町農農武上朝糸火農山ス勤サ野除浄
- ⑩ ス別
- ⑪ 業人立
- ⑫ な業人立
- ⑬ 業人立
- ⑭ 業人立
- ⑮ 業人立
- ⑯ 業人立
- ⑰ 業人立
- ⑱ 業人立
- ⑲ 業人立
- ⑳ 業人立
- ㉑ 業人立
- ㉒ 業人立
- ㉓ 業人立
- ㉔ 業人立
- ㉕ 業人立
- ㉖ 業人立
- ㉗ 業人立
- ㉘ 業人立
- ㉙ 業人立
- ㉚ 業人立
- ㉛ 業人立
- ㉜ 業人立
- ㉝ 業人立
- ㉞ 業人立
- ㉟ 業人立
- ㊱ 業人立
- ㊲ 業人立
- ㊳ 業人立
- ㊴ 業人立
- ㊵ 業人立
- ㊶ 業人立
- ㊷ 業人立
- ㊸ 業人立
- ㊹ 業人立
- ㊺ 業人立
- ㊻ 業人立
- ㊼ 業人立
- ㊽ 業人立
- ㊾ 業人立
- ㊿ 業人立

令和4年度 士別市公共下水道事業特別会計決算(消費税込み)

歳入

(単位:千円)

科 目	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	前年度比	
				増減	比率
受益者負(分)担金	16	73	3,048	△ 2,975	2.4%
下水道使用料	195,174	194,547	211,505	△ 16,958	92.0%
下水道手数料	30	62	41	21	151.2%
国庫交付金	333,633	184,848	41,530	143,318	445.1%
一般会計繰入金	379,360	378,025	333,202	44,823	113.5%
水洗化資金貸付元利収入	1,500	1,500	1,500	0	100.0%
雑入	5,741	6,605	7,199	△ 594	91.7%
起債	347,900	213,800	93,600	120,200	228.4%
繰越金	200	200	0	200	皆増
計	1,263,554	979,660	691,625	288,035	141.6%

歳出

(単位:千円)

科 目	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	前年度比	
				増減	比率
下水道施設整備費	636,998	363,728	104,000	259,728	349.7%
一般管理費	20,998	20,893	16,166	4,727	129.2%
管渠排水設備費	19,494	18,360	20,798	△ 2,438	88.3%
下水処理場管理費	141,691	136,359	120,592	15,767	113.1%
維持管理費(特環)	34,894	32,101	31,589	512	101.6%
公債費	409,479	408,019	398,280	9,739	102.4%
計	1,263,554	979,460	691,425	288,035	141.7%

※令和4年度の収支差額200千円は、令和5年度に繰越す

令和5年度繰越明許費

(単位:千円)

科 目	事業費	財 源		
		国庫交付金	起債	繰越金
下水道施設整備費	271,853	147,953	123,700	200

公共下水道事業概要

令和5年3月31日現在

全体	現在排水区域内人口 (A)	14,053人
	現在水洗便所設置済人口 (B)	13,885人
	現在排水区域内普及率 (B)/(A)	98.8%

項目		公共下水道事業(土別地区)		特定環境保全公共下水道事業 (朝日地区)	
建設事業開始年月日		昭和36年6月17日		平成6年11月11日	
供用開始年月日 (処理場供用開始)		昭和49年4月1日	簡易処理法 (沈殿放流)	平成12年3月31日	オキシデーショ ン ディッチ法
		昭和52年4月1日	標準活性汚泥法 (高級処理放流)		
普及 状況	現在排水区域内人口 (A)	13,181人		872人	
	現在水洗便所設置済人口 (B)	13,121人		764人	
	現在排水区域内普及率 (B)/(A)	99.5%		87.6%	
	全体計画面積 (C)	670ha		95ha	
	現在処理区域面積 (D)	612ha		95ha	
	面整備率 (D)/(C)	91.3%		100.0%	
事業 費	管渠費 (E)	13,291,046千円	R4 260,410千円	1,889,000千円	
	処理場費 (F)	5,856,988千円	R4 30,060千円	1,681,340千円	R4 73,270千円
	その他 (G)	25,418千円			
	総事業費 (E)+(F)+(G)	19,173,452千円	R4 290,470千円	3,570,340千円	R4 73,270千円
管渠	污水管 (H)	99km	R4施工 L=7m	16km	
	雨水管 (I)	63km			
	合流管 (J)	17km			
	下水管布設延長 (H)+(I)+(J)	179km		16km	

令和4年度 公共下水道事業の工事実績

(単位：千円 (税込み))

区分	工 事 名	工 事 概 要	金 額
工 事 費	士別下水処理場外 電気設備更新工事	引込開閉器盤 1面 ポンプ動力盤 1面 非常通報装置 1台 投込式水位計 1組	84,337
	士別下水処理場外 機器更新施工監理業務	機器更新施工管理 一式	2,432
	士別市下水処理場 機械設備更新工事	消化ガスタンク更新 一式	46,794
	士別市下水処理場 屋上防水改修工事	水処理棟 防水改修工事 一式 消化タンク棟 外壁・防水改修工事 一式 汚水中継ポンプ場 外壁・防水改修工事 一式	35,123
	士別下水処理場 簡易覆蓋更新工事	覆蓋更新 1箇所	331
	第11工区北8丁目通り 下水道新設工事	污水管布設 φ150mm L= 7.81m	2,453
	士別下水処理場 電気設備更新工事	管廊電気室計装変換基盤 1面 管廊電気室コントローラ 1面 管廊電気室監視盤機能増設 一式 No.1、2LCD監視制御装置機能増設 一式	42,000
	士別下水処理場 機械設備更新工事	ポンプ設備工 一式	21,000
	公設柵設置工事	設置箇所 9箇所	2,400
	老朽人孔蓋更新工事	人孔蓋更新 N=23箇所	9,438
委 託 費	士別下水処理場外 機器更新単価策定業務	単価策定調査 一式	773
	士別下水処理場 機器更新単価策定業務その2	単価策定調査 一式	1,650
	士別下水処理場外 水処理施設改築更新実施設計業務	改築更新実施設計 一式	15,246
	公共下水道管路施設 長寿命化基礎調査業務	管路内調査・診断 一式	5,830
	公共下水道事業 計画策定業務	下水道事業計画変更計画書策定業務 一式	8,690
事務費	付帯事務費	事務費	4,905
総 合 計			283,402

令和4年度に予算措置した事業のうち令和5年度に繰越した事業

(単位：千円 (税込み))

区分	工 事 名	繰 越 理 由	金 額
工 事 費	老朽人孔蓋更新工事	国の令和4年度補正予算の成立に伴い、令和5年度に計画していた事業を前倒して実施するため	10,000
	士別下水処理場 機械設備更新工事	世界的な半導体及び資機材の不足により、資材の調達に遅れが生じたことで、年度内に工事が完了しなかったため。	34,726
	士別下水処理場 電気設備更新工事		63,138
	士別下水処理場 簡易覆蓋更新工事		939
委託費	士別下水処理場外 機器更新施工監理業務		1,540
総 合 計			110,343

令和4年度 特定環境保全公共下水道事業の工事实績

(単位：千円 (税込み))

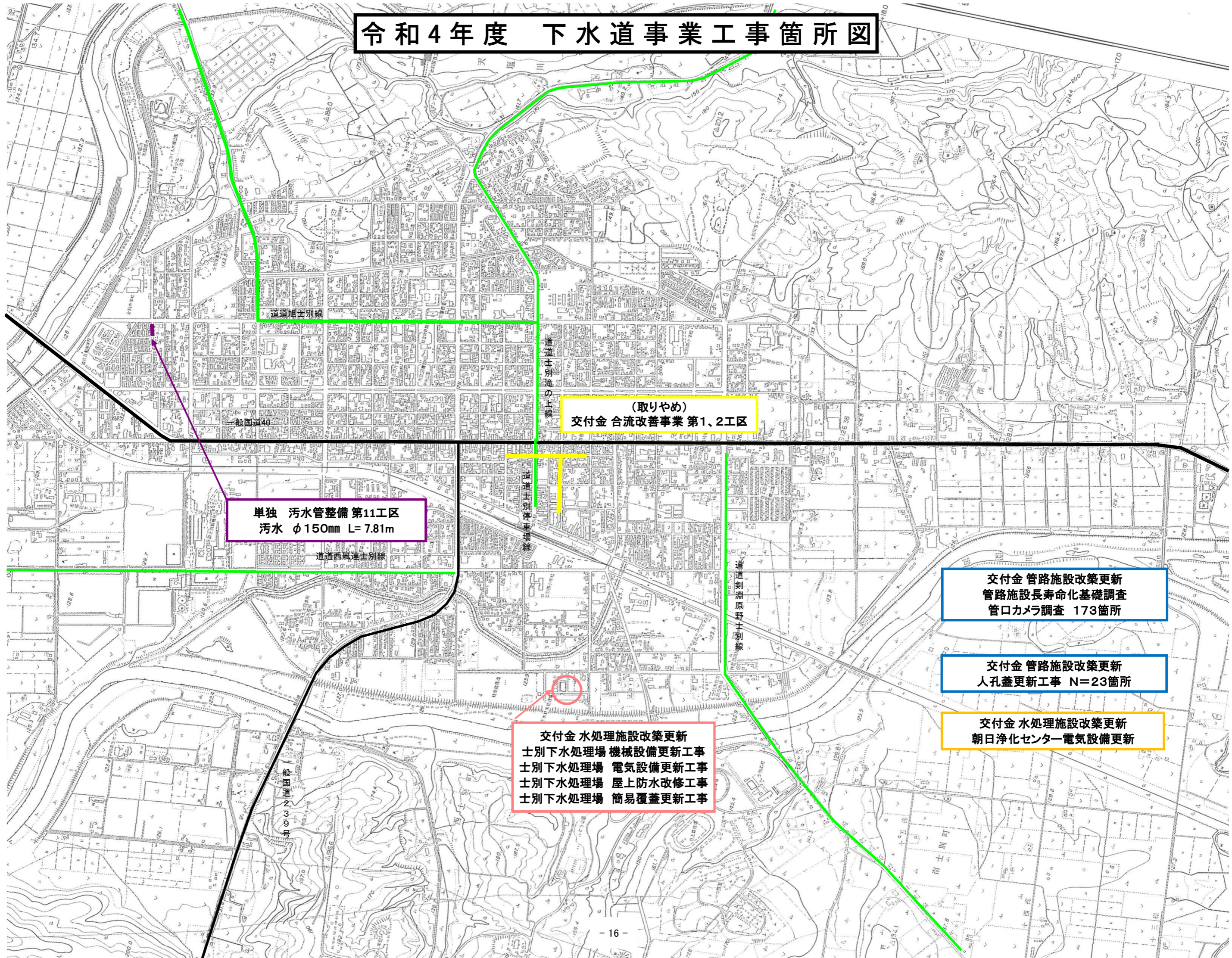
区分	工 事 名		工 事 概 要	金 額
工 事 費	朝日浄化センター 電気設備更新工事	R 3 繰 越 事 業	曝気装置用インバータ盤 2面 リモートI/O盤 1面 自動通報装置 1台 LCD監視装置機能増設 一式	66,550
	士別下水処理場外 機器更新施工監理業務		機器更新施工管理 一式	1,198
委 託 費	朝日浄化センター外 機器更新単価策定業務		単価策定調査 一式	1,969
	士別下水処理場外 機器更新単価策定業務		単価策定調査 一式	174
	士別下水処理場外 水処理施設改築更新実施設計業務		改築更新実施設計 一式	3,124
事務費	付帯事務費		事務費	255
総 合 計				73,270

令和4年度に予算措置した事業のうち令和5年度に繰越した事業

(単位：千円 (税込み))

区分	工 事 名		繰 越 理 由	金 額
工事費	朝日浄化センター 電気設備更新工事		世界的な半導体及び資機材の不足により、資材の 調達に遅れが生じたことで、年度内に工事が完了 しなかったため。	159,170
委託費	士別下水処理場外 機器更新施工監理業務			2,310
総 合 計				161,480

令和4年度 下水道事業工事箇所図



(取りやめ)
交付金 合流改善事業 第1、2工区

単独 污水管整備 第11工区
污水 $\phi 150\text{mm}$ L=7.81m

交付金 水処理施設改築更新
土別下水処理場 機械設備更新工事
土別下水処理場 電気設備更新工事
土別下水処理場 屋上防水改修工事
土別下水処理場 簡易覆蓋更新工事

交付金 管路施設改築更新
管路施設長寿命化基礎調査
管口カメラ調査 173箇所

交付金 管路施設改築更新
人孔蓋更新工事 N=23箇所

交付金 水処理施設改築更新
朝日浄化センター電気設備更新

令和4年度 士別市農業集落排水事業特別会計決算(消費税込み)

歳入

(単位:千円)

科目	令和4年度	令和4年度			令和3年度			前年度比	
	予算額	決算額	農集	個別	決算額	農集	個別	増減	比率
受益者分担金	635	645	35	610	1,014	53	961	△ 369	63.6%
使用料	22,398	22,178	7,594	14,584	23,340	7,904	15,436	△ 1,162	95.0%
手数料	9	7	0	7	8	2	6	△ 1	87.5%
国道補助金	0	0	0	0	26,449	26,449	0	△ 26,449	皆減
一般会計繰入金	148,862	144,870	82,860	62,010	151,003	88,788	62,215	△ 6,133	95.9%
水洗化資金貸付元利収入	2,000	2,000	500	1,500	2,000	500	1,500	0	100.0%
雑入	1	96	96	0	113	113	0	△ 17	85.0%
起債	58,300	57,300	52,200	5,100	79,000	69,000	10,000	△ 21,700	72.5%
繰越金	0	0	0	0	100	100	0	△ 100	皆増
計	232,205	227,096	143,285	83,811	283,027	192,909	90,118	△ 55,931	80.2%

歳出

(単位:千円)

科目	令和4年度	令和4年度			令和3年度			前年度比	
	予算額	決算額	農集	個別	決算額	農集	個別	増減	比率
農業集落排水施設管理運営費	42,146	40,522	40,522	0	44,721	44,721	0	△ 4,199	90.6%
農業集落排水施設整備費	0	0		0	52,946	52,946	0	△ 52,946	皆減
個別排水処理施設管理費	40,387	38,443	0	38,443	39,695	0	39,695	△ 1,252	96.8%
個別排水処理施設整備費	6,000	5,775	0	5,775	11,154	0	11,154	△ 5,379	51.8%
公債費	143,672	142,356	102,763	39,593	134,511	95,242	39,269	7,845	105.8%
計	232,205	227,096	143,285	83,811	283,027	192,909	90,118	△ 55,931	80.2%

農業集落排水施設事業概要

令和5年3月31日 現在

種 別	上士別地区	多 寄 地 区	中士別第一地区	中士別第二地区	全 体	
事業区域面積(ha)	32.8	49.6	14.0	4.0	100.4	
計 画 戸 数	178	204	59	18	459	
計 画 人 口	530	400	130	50	1,110	
計画日平均汚水量 (t/日)	143	108	35	14	300	
処 理 方 式	土壤式接触 循環曝気方式	回分式活性 汚泥方式	沈殿分離接触 曝気方式	沈殿分離接触 曝気方式	/	
管路流送方式	自然流下	真 空 式	自然流下	自然流下	/	
管路延長 (m)補助	7,829	5,930	5,023	2,452	21,234	
管路延長 (m)単独	0	776	273	78	1,127	
管路延長 (m)合計	7,829	6,706	5,296	2,530	22,361	
総事業費 (千円)	1,366,072	2,057,418	1,039,502	522,572	4,985,564	
処理施設 (千円)	972,346	878,382	431,416	213,129	2,495,273	
管 路 工 (千円)	393,726	1,179,036	608,086	309,443	2,490,291	
供 用 開 始	昭和56年12月	平成8年4月	平成9年4月	平成9年4月	/	
普 及 状 況	定住者戸数	125	138	37	15	315
	定住者人口(A)	241	243	81	27	592
	水洗化戸数	123	136	33	15	307
	水洗化人口(B)	237	239	74	27	577
	水洗化率(B)/(A)(%)	98.3%	98.4%	91.4%	100.0%	97.5%

個別排水処理施設事業概要

(令和5年3月31日現在)

項 目	令和4年度までの累計	項 目	令和4年度(実績)
建設事業開始年度	平成7年度	事業費	5,775千円
総建設事業費	979,796千円	設置基数	4基
浄化槽設置基数	845基	設置人口	13人

年度別合併浄化槽設置表

(令和5年3月31日現在)

年度	戸数	累計戸数	水洗済人口	備考
H7	12	12	24	
H8	120	132	608	
H9	116	248	1,127	
H10	120	368	1,670	
H11	104	472	1,962	
H12	53	525	2,163	
H13	39	564	2,483	
H14	31	595	2,553	
H15	9	604	2,603	
H16	8	612	2,641	
H17	8	620	2,659	
H18	8	710	2,918	旧朝日町 82基 241人
H19	14	724	2,971	
H20	7	731	2,987	
H21	9	740	2,852	
H22	11	751	2,640	
H23	9	760	2,555	
H24	8	768	2,366	
H25	13	781	2,345	
H26	9	790	2,058	
H27	10	800	2,039	
H28	6	806	2,040	
H29	5	811	2,017	
H30	3	814	1,985	
R1	12	826	1,943	
R2	8	834	1,890	
R3	7	841	1,789	
R4	4	845	1,732	

※令和4年度末における、市管理(保守点検)合併浄化槽 797基

令和4年度 合併浄化槽設置工事实績

(単位：千円)

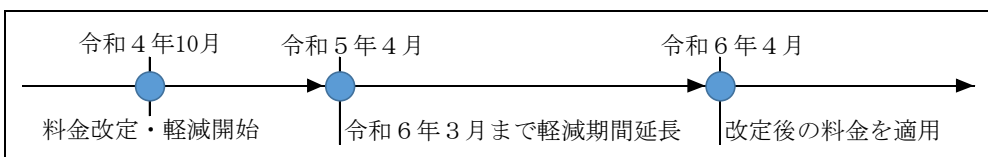
区分	工 事 名	工 事 概 要	金 額
工 事 費	士別地区 個別排水処理施設工事その1	合併処理浄化槽 7人槽1基	1,595
	士別地区 個別排水処理施設工事その2	合併処理浄化槽 5人槽1基	1,265
	士別地区 個別排水処理施設工事その3	合併処理浄化槽 5人槽1基	1,276
	士別地区 個別排水処理施設工事その4	合併処理浄化槽 7人槽1基	1,639
合 計			5,775

水道料金のお知らせ

令和6年3月まで水道料金を軽減します。

●水道料金軽減の流れ

- 令和4年10月 水道料金を改定
水道料金の軽減開始
・軽減額：改定前と改定後の料金差額
・軽減期間：令和4年10月から令和5年3月
- 令和5年4月 水道料金の軽減期間延長
・軽減期間：令和6年3月まで延長
- 令和6年4月 軽減期間終了
・改定後の料金を適用



●水道料金Q&A

Q どうして軽減を延長するの？

A 物価高騰に加え、エネルギー価格の急激な上昇が見込まれるため、市民の負担軽減を目的に水道料金の軽減を延長することにしました。

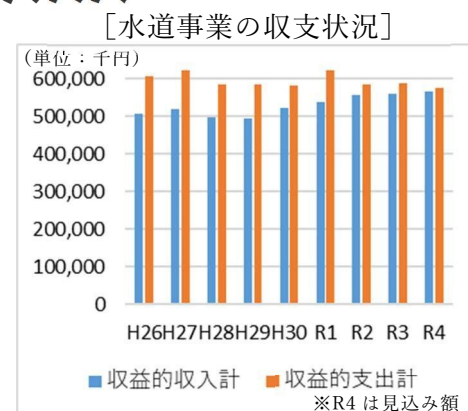


Q 軽減を延長して水道事業の経営に影響はないの？

A 水道事業の収入が減る分は士別市の一般会計から補てんされるため、水道事業の経営に影響はありません。
一般会計では、令和5年度予算で、水道料金の軽減分として8,000万円を計上しています。

Q 水道事業の経営状況は大丈夫？

A 水道事業は、平成22年度から赤字決算となっており、令和4年度も赤字決算となる見込みです。令和5年度には料金改定の影響で黒字化する予定ですが、人口減少による水需要の低下や施設の老朽化など、経営を取り巻く環境は厳しくなっています。



Q 水道事業の赤字分を一般会計で補てんしては？

A 水道事業は、士別市が経営する独立した企業として、水道料金によって運営することが原則とされていますが、水道事業の経営の安定のため、一般会計からの繰入金のルールを見直しています。
一般会計は、限られた財源で福祉・教育・保育・道路などの多岐にわたる市民サービスを実施しているため、水道事業への繰入金は、他事業とのバランスを考慮して決めなければなりません。

●お問い合わせ先

士別市建設環境部上下水道局経営料金係
TEL0165-26-7725 (平日 8:30~17:15)

水道事業の一般会計繰入金の見直し

1. 水道事業の特色

水道事業は、電気、ガス、鉄道などと同様に、公益事業の一種ですが、住民が生活する上で必要不可欠なインフラであり、極めて高い公共性を担っています。一方で水道事業は住民の福祉増進を目的として経営する地方公営企業であり、「独立採算」で経営されていることから、企業としての経済性が求められます。

2. 水道事業の経営の原則

①独立採算制の原則

水道事業の経営の財源は、地方公営企業法に基づき経済性を発揮する仕組みの一つとして、「地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てなければならない」と定められています。これは、水道事業は、税金によらず、使用水量に応じて水道使用者に支払ってもらう料金収入などの収入によって運営されなければならないというものです。

②経費の負担の原則

独立採算制の原則のほかに、「経費の負担の原則」として、「その性質上当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費」あるいは「当該地方公営企業の性質上能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費」があり、これらについては一般会計等が負担することとなっています。

これらの一般会計等の負担とされる経費は、総務省から通知される「地方公営企業繰出金について」により定められており、「基準内の繰入金」として措置されています。

3. 基準外の繰入金

これまで、採算性がない旧簡易水道地区の収支不足分や福祉軽減による減収分など、政策的に必要となる経費については、限定的に一般会計からの基準外の繰入を行ってきました。

今後も、水道事業の安定的な経営基盤の確保のため、これまでの基本的な考え方を保持する中で以下2点の経費を追加し繰入することとしました。

① 東山浄水場の建設改良費の一部

- ・東山浄水場から旧簡易水道地区へ給水しているため、東山浄水場の建設改良費の一部を計画給水量により按分して繰り入れ。

② 凍結防止と残留塩素確保のために使用している水量にかかる経費

- ・旧簡易水道地区の凍結防止や配水管の末端水道使用者まで必要な塩素を確保するために通水している水量にかかる経費を繰り入れ。

[追加となる繰入金の見込み額]

(千円)

項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
東山浄水場建設改良費の郊外地区分	12,082	12,693	13,130	13,762	14,495	15,796	16,439
凍結防止水量にかかる経費	1,349	1,349	1,349	1,349	1,349	1,349	1,349
残塩対策水量にかかる経費	4,304	4,304	4,304	4,304	4,304	4,304	4,304
合計	17,735	18,346	18,783	19,415	20,148	21,449	22,092

下水道事業の地方公営企業法適用と収支概要

令和6年度から、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、個別排水処理事業の下水道4事業が地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行します。

1. 地方公営企業法適用による変更点

	官庁会計（地方公営企業法適用前）	公営企業会計（地方公営企業法適用後）
会計処理	現金主義 ・現金の収入及び支出の事実に基づいて経理記帳	発生主義 ・現金の収入及び支出の有無にかかわらず、経済活動の発生という事実に基づきその発生の都度記録、整理 ・減価償却費や引当金など現金を伴わないものも毎事業年度に計上することで、適切な期間損益計算が可能
	単式簿記 ・貨幣・財貨等の変動の一面のみを記録	複式簿記 ・経済価値の増加と減少という二つの側面に注目し、変動を記録 ・資産・負債・資本の三面から財産等を示し、収益・費用の二面から経済の流れを示す
財務諸表	—	地方公営企業法に基づき作成 ・法に基づき作成するもので、他団体との比較が可能
予算決算	官庁会計方式により特別会計で管理 ・歳入、歳出区分のみでの予算・決算管理 ・出納整理期間あり	企業会計方式により管理 ・収益的収支（3条）、資本的収支（4条）に区分して予算・決算管理 ・出納整理期間なし

2. 地方公営企業会計に移行する意義

①経営状況の明確化

- ・損益計算書や貸借対照表などの財務書類を作成することで、経営状況が明確化されます。

②自治体間での比較が容易に

- ・財務書類は、各団体と同一の基準で作成されるため、比較分析が容易になります。

③適切な財産把握

- ・減価償却の考え方が加わり、資産の老朽化の状態を把握することができます。

④職員の経営意識向上

- ・財務書類の作成や複式簿記による経理により経営意識を持った職員の育成につながります。

3. 公共下水道事業の法適後の経営状況

①公営企業法適用による収支計画作成上の変更点

- ・収益的収支は「消費税抜き」での表記になります。
- ・資産に関わる科目（減価償却費、資産減耗費、長期前受金）が発生します。

②下水道事業の資産状況

固定資産

(千円)

項目	公共下水	特環	農業	個排	合計
固定資産取得額	18,545,824	3,631,861	4,051,520	1,135,594	27,364,799
R5年度末減価償却累計額	10,762,390	1,656,278	2,291,419	768,426	15,478,513
R6年度当初資産額	7,783,434	1,975,583	1,760,101	367,168	11,886,286
R6年度減価償却額	330,288	73,612	75,852	31,764	511,516

繰延収益

(千円)

項目	公共下水	特環	農集	個排	合計
繰延収益額	8,117,967	1,867,969	2,490,152	337,998	12,814,086
R5年度末長期前受金収益化累計額	4,873,642	847,215	1,439,535	251,998	7,412,390
R6年度当初繰延収益額	3,244,325	1,020,754	1,050,617	86,000	5,401,696
R6年度長期前受金収益化額	142,424	38,384	44,584	7,121	232,513

③一般会計繰入金の見直し

- ・特別会計では、基準内繰入金に加えて、収支不足分について一般会計からの基準外の繰入金をもって収支の均衡を図ってきました。
- ・公営企業法適用後は、基準外の繰入金についてルールを定め、事業を運営します。

内容	説明
基準内繰入金	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業法で、一般会計において負担するものとされている経費に充てるための繰入金 〔毎年、総務省から「繰出基準」として経費負担のルールが通知されます。〕
基準外繰入金	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の「繰出基準」に基づかない繰入金 〔下水道事業と一般会計で繰入のルールを定めます。〕
福祉軽減にかかる経費	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉軽減に伴う下水道事業の減収分
特定環境保全公共下水道事業・農業集落排水事業・個別排水処理事業の現金収支不足分	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の採算性が見込めない公共下水道事業以外の3事業の現金収支不足分 公共下水道事業以外の3事業は、使用料の地域間の格差を生じさせないよう、公共下水道事業の使用料を適用しているため、採算性が見込めない構造となっています。
資本費平準化債の償還金	<ul style="list-style-type: none"> ・資本費平準化債の元金償還金 〔資本費平準化債とは、世代間の負担の公平を図る目的で、減価償却費と元金償還金の差額を解消するために発行する借入金です。〕
地方財政措置の基準を下回る使用料単価の差額分	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料単価(1 m³あたりの使用料)の地方財政措置の基準(150 円/m³)と現状の単価(約136 円/m³)との差額分

4. 下水道使用料の見直し

- ・現在の下水道使用料は、地方財政措置の基準より低くなっていますが、市民生活への影響を踏まえて、当面は、現行の使用料単価とすることとしました。
- ・このため、基準外繰入金で「地方財政措置の基準を下回る使用料単価の差額分」に対して繰入れることとしましたが、この繰入金は永続的な措置ではないこととしています。
- ・下水道事業としては、本来は独立採算による経営を進めるべきであり、将来的には、下水道使用料の見直しの議論が必要となります。

公共下水道事業収支計画

(単位:千円, %)

※ 本表の収益的収支は「消費税抜き」、資本的収支は「消費税込み」の数字を記載している。

区 分		年 度		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2028年度	2029年度
		(R6年度)	(R7年度)	(R8年度)	(R9年度)	(R10年度)	(R11年度)	(R12年度)		
収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益	1. 営 業 収 益	316,133	314,258	313,900	317,688	312,218	313,911	312,301	
		(1) 使 用 料 収 入	169,264	167,571	165,895	164,236	162,594	160,968	159,358	
		(2) 受 託 工 事 収 益								
	(3) そ の 他	(3) そ の 他	146,869	146,687	148,005	153,452	149,624	152,943	152,943	
		2. 営 業 外 収 益	304,629	306,171	309,032	310,279	306,423	316,869	311,406	
		(1) 国 庫 補 助 金	7,800	4,800	3,000	3,000	3,000	7,800	3,000	
	(1) 他 会 計 補 助 金	(1) 他 会 計 補 助 金	147,126	147,102	147,243	150,335	143,947	143,970	137,476	
		内 基 準 外 繰 入	105,712	100,548	95,875	91,346	86,417	80,654	74,160	
		内 基 準 内 繰 入	41,414	46,554	51,368	58,989	57,530	63,316	63,316	
	(2) 長 期 前 受 金 戻 入	(2) 長 期 前 受 金 戻 入	142,424	146,990	151,510	149,665	152,197	157,820	163,651	
		(3) そ の 他	7,279	7,279	7,279	7,279	7,279	7,279	7,279	
		収 入 計 (A)	620,762	620,429	622,932	627,967	618,641	630,780	623,707	
	支 出	1. 営 業 費 用	1. 営 業 費 用	508,791	515,078	524,640	536,319	533,948	553,285	555,411
			(1) 職 員 給 与 費	6,074	6,074	6,074	6,074	6,074	6,074	6,074
(2) 経 費			165,823	163,545	163,544	177,920	170,384	182,685	177,638	
(3) 資 産 減 耗 費			6,606	6,774	6,961	6,908	7,010	7,148	7,288	
(4) 減 価 償 却 費		330,288	338,685	348,061	345,417	350,480	357,378	364,411		
2. 営 業 外 費 用		2. 営 業 外 費 用	28,201	25,175	22,472	20,125	18,023	16,549	14,786	
		(1) 支 払 利 息	27,362	24,452	21,879	19,530	17,427	15,515	13,752	
(2) そ の 他		(2) そ の 他	839	723	593	595	596	1,034	1,034	
		支 出 計 (B)	536,992	540,253	547,112	556,444	551,971	569,834	570,197	
経常損益 (A)-(B) (C)		83,770	80,176	75,820	71,523	66,670	60,946	53,510		
特別利益 (D)		0	0	0	0	0	0	0		
特別損失 (E)		0	0	0	0	0	0	0		
特別損益 (D)-(E) (F)		0	0	0	0	0	0	0		
当年度純利益(又は純損失) (C)+(F)		83,770	80,176	75,820	71,523	66,670	60,946	53,510		
繰越利益剰余金又は累積欠損金 (G)		83,770	163,946	239,766	311,289	377,959	438,905	492,415		
資 本 的 収 入	1. 企 業 債	1. 企 業 債	210,900	217,100	169,800	169,800	169,800	164,500	164,500	
		2. 他 会 計 補 助 金	175	175	175	0	0	0	0	
		3. 国 (都 道 府 県) 補 助 金	208,017	213,612	152,406	152,406	152,406	147,606	147,606	
		4. 固 定 資 産 売 却 代 金								
		5. 工 事 負 担 金								
		6. そ の 他 (他 会 計 出 資 金	18,961	19,037	19,037	16,747	14,577	12,483	12,483	
	収 入 計 (H)	438,053	449,924	341,418	338,953	336,783	324,589	324,589		
資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費	1. 建 設 改 良 費	419,040	430,740	328,020	328,020	328,020	318,420	318,420	
		うち職員給与費	12,524	12,549	12,574	12,599	12,624	12,624	12,624	
	2. 企 業 債 償 還 金	320,868	303,958	292,688	287,825	290,381	292,058	283,730		
支 出 計 (I)		739,908	734,698	620,708	615,845	618,401	610,478	602,150		
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (H)-(I) (J)		301,855	284,774	279,290	276,892	281,618	285,889	277,561		
財 補 源 填	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	283,810	266,176	264,468	262,072	266,801	271,508	263,180	
		2. そ の 他	18,045	18,598	14,822	14,820	14,817	14,381	14,381	
	計		301,855	284,774	279,290	276,892	281,618	285,889	277,561	
企業債残高		3,335,782	3,248,924	3,126,036	3,008,011	2,887,430	2,759,872	2,640,642		
運転資本		8,430	20,899	35,763	47,874	53,036	49,180	47,558		
資金増減額		△ 5,570	12,469	14,864	12,111	5,162	△ 3,856	△ 1,622		

上下水道の手数料見直しの方針

1. 給水装置工事検査手数料

(現況)

- ・現行は、工事検査を申し込むときに 5,000 円の手数料が発生します。(R4 63 件)
- ・給水装置工事検査手数料は、他市に比べ低い水準になっています。
- ・手数料算定シートでは、約 10,000 円の経費が見込まれます。

(方針)

- ・事務の内容は、現地検査と設計審査に分けられるため、区分を分けて手数料を設定し、それぞれ 5,000 円とします。

給水工事検査	現地検査	設計審査	承認通知
新設	あり	あり	あり
改造 (メーター移設あり)	あり	あり	あり
改造 (メーター移設なし)	なし	あり	あり
撤去	なし	なし	あり

(改定案)

現行

工事の検査を申し込むとき (1 件につき)
5,000 円

改定案

工事検査手数料 (メーター 1 個につき)	設計審査手数料 (申請 1 件につき)
5,000 円	5,000 円

(例)

- ① 4 戸が入居できるアパートを建てて、水道メーターを 4 個新設した場合
 工事検査手数料 5,000 円×4 個 + 設計審査手数料 5,000 円×1 件 = 25,000 円
- ② 庭に散水栓を新たに設置し、水道メーターはそのまま使用する場合
 設計審査手数料 5,000 円
- ③ 引っ越しに伴い家を解体し、水道メーターを撤去する場合
 手数料はかかりません

2. 排水設備工事検査手数料

(現況)

- ・現行は、排水設備工事検査手数料として 1,000 円の手数料が発生します。(R4 49 件)
- ・他市の事例を見ると、検査手数料を徴収していないところが多数あります。
- ・下水道事業は、汚水管を整備した際に排水区域ごとに受益者負担金を課しています。
- ・下水道法上では、汚水管の供用開始後 3 年以内に下水道に接続しなければならないことになっています。

(方針・改正案)

- ・公衆衛生の向上を目的に、排水設備の設置を促す立場であることから、排水設備検査手数料は廃止します。

他市の手数料の状況

	市	給水装置工事検査手数料				留意事項	排水設備工事検査手数料
		新設 小口 (口径13mm) 工事費40万円	新設 大口 (口径40mm) 工事費100万円	改造 (簡易な改造) 工事費10万円	撤去 工事費10万円		
1	赤平市	13,600	25,300	9,100	3,800		
2	旭川市	14,500	22,700	7,000	2,000		
3	芦別市	10,800	20,400	5,700	4,800		
4	網走市	23,000	35,700	7,000	2,000		
5	石狩市	36,000	140,000	0	0		計画確認500、配水管その他の材料の検査 材料費の100分の1、工事完了検査 工事費の100分の1
6	岩見沢市	14,000	35,000	0	0		設計審査 工事費の100分の1、竣工検査 工事費の100分の2.5
7	恵庭市	34,700	149,000	7,800	1,300		500
8	江別市	28,300	56,300	5,600	0	別に口径別で加入金(13mmの場合50,400円)を徴収	
9	小樽市	19,500	30,100	13,100	3,200	別に口径別で加入金(13mmの場合38,000円)を徴収	
10	帯広市	16,000	16,000	11,000	0		
11	北広島市	31,500	126,000	7,000	0	別に口径別で加入金(13mmの場合78,000円)を徴収	1,000~3,000
12	北見市	18,500	39,300	12,900	2,800	別に口径別で加入金(13mmの場合36,000円)を徴収	
13	釧路市	24,150	47,250	3,150	0	別に口径別で給水装置の負担金(13mmの場合31,500円)を徴収	
14	札幌市	11,600	23,300	7,100	1,800	別に口径別で加入金(13mmの場合56,000円)を徴収	
15	士別市	5,000	5,000	0	0	新設のメーターは使用者負担	1,000
16	伊達市	27,000	27,000	5,500	1,000		
17	千歳市	31,500	73,000	13,000	2,000		設計、工事費の額の100分の4
18	苫小牧市	27,300	33,700	7,200	0		
19	中空知広域水道企業団	11,600	23,300	7,100	0	メーター負担金は、企業長がその都度定める額	
20	名寄市	17,000	33,000	2,000	500		1,000
21	根室市	59,000	208,000	0	0	メーター貸与伴わない場合は400円に工事検査手数料	
22	登別市					不明	
23	函館市	9,900	14,000	6,100	6,100		
24	美唄市	3,500	9,000	3,500	3,500		工事費の100分の1
25	深川市	10,000	10,000	0	0		
26	富良野市	12,000	30,000	3,000	3,000		申請1,000、工事検査1,000
27	北斗市	4,400	14,800	2,600	0		
28	三笠市	8,000	20,000	0	0		計画審査2,000、工事審査2,000
29	室蘭市	34,700	57,400	7,800	5,500	別に口径別で負担金(13mmの場合30,000円)を徴収	
30	紋別市	26,000	51,000	7,000	1,000		
31	夕張市	48,000	120,000	12,000	12,000		
32	留萌市	19,300	49,400	15,300	3,900		
33	稚内市	10,000	32,000	500	0		
	剣淵町	5,000	5,000				5,000
	和寒町	10,000	10,000				1,000
	幌加内町	850	850	850	340		

手数料算定シート

(令和5年作成)

手数料名称	工事検査手数料・設計審査手数料			
【原価構成費用項目】				
対 象 経 費	工事検査手数料	設計審査手数料	合計	
人件費 (交付税算定単価)	処理時間	80分	60分	140分
	単価(1分あたり 68円)	5,440	4,080	9,520
需用費	消耗品費		1	1
	印刷製本費		5	5
	ガソリン代	60		60
役務費	通信運搬費		76	76
	手数料			0
委託料	事務委託、保守点検など			0
使用料及び賃借料	コピー機等のリース料など			0
合計(税抜)		5,500	4,162	9,662
算定手数料(税込)		6,050	4,578	10,628

【備考】

a 人件費

設計審査 1名 30分
 事務処理 1名 30分
 現地検査 2名 40分

b 需要費

用紙代 0.2円/枚 1.0円
 コピー使用料(モノクロ) 5.0円/枚 5.0円
 ガソリン代 1リットル150円 15円/km × 往復4km = 60円

c 役務費

郵送料 76円